

2014年8月定期報告 と次月度以降の活動予定

《栃木県生活協同組合連合会》
文責：専務理事 中田

活動日誌

8月	1日	くらし安全安心課意見交換会
	4日	くらし部会
	5日	日本生協連「会計研究報告学習会」
	7日	小山市総合政策策定懇談会
	7日	労福協幹事会
	7日	防災訓練全体会
	9日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	12日	理事会・監事会
	19日	ふれあいお茶会(夏祭り)
	19日	新しい地域支援のあり方フォーラム
	22日	食と農をつなげる会打合せ
	24日	放射線による健康影響に関する意見交換会(福祉大学大田原校)
	25日	栃木県食品表示セミナー
	26日	拉致問題考える国民の集い in とちぎ
9月	28日	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
	28日	グループフォーラムキックオフ集会
	29日	介護保健改定学習会(日生協山際氏)
	31日	栃木県・下野市合同総合防災訓練
	3日	エコ農業推進会議
	4日	消費者グループフォーラム 栃木県実行委員会
	6日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	11日	栃木放送番組審議会
	11日	6県連合同業態研修会(茨城県)11-12日
	13日	JC総研 協同組合研究会(明治大学)
	16日	ふれあいお茶会
	18日	福祉ネットワーク
	22日	組合員理事学習会
	23日	足尾銅山生協訪問
10月	25日	消費者フォーラム
	25日	とちぎ食の安全ネットワーク全体会(動物医薬用品学習)
	26日	栃木県生協連生協検査
	27日	JCC 研究集会
	28日	もったいないフェア宇都宮2014
	29日	とちぎ消費者カレッジ『宇都宮短期大学宇都宮共和大学子ども生活部』
	30日	中央地連運営委員会(県連推進会議)
	3日	関東甲信越行政生協関係者交流会
	4日	かがやく女性フォーラム
	4日	ねんりんピック4-7日
	6日	くらし部会
	7日	食と農をつなげる会
	9日	食品安全フォーラム(県庁)
	10日	理事長専務会議
11日	エコ森フェア 2014	
14日	福祉センター理事会	
16日	労福協幹事会	
18日	いわき市四倉仮設住宅お茶会	
20日	県連理事会	
20日	とちぎ消費者カレッジ『作新学院大学女子短期大学部』	
23日	食の安全フォーラム(佐野)、とちぎ食の安全ネットワーク世話人会	
25日	とちぎ食育推進大会 2014(総合文化センター)25-26	
25日	とちぎ食と農ふれあいフェア 2014(県庁)25-26	
26日	栃木市協働祭り	
28日	とちぎ消費者ネットワーク全体会	

県連活動

1. くらし部会

(介護保険制度改定に伴う活動)

8月定例会では、『「介護保険精度の改定に向けた市町村訪問活動について」～新しい地域支援事業～これまでの介護保険精度と何が変わるのか？市町村訪問のポイントについて』と題して、今後の市町村訪問活動

のために日本生協連福祉事業推進部山際部長に学習会をしていただきました。参加者は39名で、「分かりやすく説明をしていただき理解が深まった。」との感想が多数でした。

今後、市の訪問を実施するにあたり、小山市と宇都宮市で実施することとなりました。まず初めに、両市の取り組みを窓口に訪問し、聞き取る動きから始めました。

また、訪問を前に、各地域生協の事業の状況やサービスの資源を集約し、支援事業に役立つことがないかなど、市町にアピールできるように集約を行いました。今後更に訪問を具体化して行きます。

(行政との協働事業)

「うつのみや食育フェア2014」(11月9日)、及び「ECOテック&ライフとちぎ2014」(12月6日7日)の出展を予定しています。現在、実施内容の具体化を進めています。

(食と農をつなげる会)

10月7日(火)予定の「食と農をつなげる会」では、JA改革についての学習と交流をすることにしました。協同組合連に対する政府の介入についての問題点や、協同組合として私たちはどうあるべきかなど、交流する予定です。

(栃木協働祭りの参加)

10月26日(日)に予定されている恒例の栃木協働祭りは、栃木子育てネットワークの一員として参加します。

2. 『組合員理事及び組織活動担当職員向け学習会』の開催

第一回は、9月22日(月)を予定しています。テーマ：「協同組合の社会的な役割と生協への期待(仮題)」
講師：生協連 竹内会長理事、参加予定は32人。

3. 『組合員・役職員学習会』の開催

	日	テーマ	講師	参加・備考
1	7月7日	いま憲法について考える ～憲法のいきづく国にするために～	伊藤塾 塾長伊藤真弁護士	参加81名 「憲法について改めて学ぶ機会になった」との感想あり。
2	7月26日	TPP交渉の現状と今後の見通し ～私たちの暮らしにどう影響するのか?～	東京大学大学院農 学生命科学研究科 鈴木宣弘教授	参加104名 「知ることの大切さを知った。」などの感想あり。

4. 行政、他団体との協働

- 1) 8月19日、さわやか福祉財団、NPO地域ケア政策ネットワークが主催する「新しい地域支援のあり方フォーラム」に参加しました。地域で活動するNPOの取り組みを知ることができました。
- 2) 8月24日、栃木県が開催した「放射線による健康影響に関する意見交換会」パネラーとして竹内会長が消費者団体として参加しました。テーマは、「被ばくの現状と健康リスク ～低線量被ばくでの健康影響～」でした。
- 3) 8月25日、栃木県が開催した「食品表示の法律が変わる!? 消費者として知っておきたいこと」(講師：消費者コンサルタント東京海洋大学森田講師)に県連として参加しました。
- 4) 協同組合交流会は、12月10日(水)を予定しています。

5. 総合防災訓練の実施

8月31日、栃木県・下野市総合防災訓練が開催されました。よつ葉生協職員4名(車両1台)、医療生協2名(血压検査)、とちぎコープ9名(車両4台)、県連4名が参加し、総勢19名車両5台が参加し物資輸送訓練を行いました。次回は、小山市が主催市となります。

6. 6県連合同業態研修会について

昨年主催県となりました職域生協の集まり「6県連合同業態研修会」ですが、今年は茨城県で9月1日12日開催の予定です。栃木県連では4名参加します。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

8月の世話人会では、県と共催となるフォーラムの具体化を検討しました。

地区	日	テーマ等	場所
県央地区	10月9日	放射性物質と食品の安全性について～今それぞれの立場で取組んでいること～	県庁研修館講堂
安足地区	10月23日	食品工場の品質管理について～カレーのルーはどのようにつくるの～	ハウス食品(佐野市)
県北地区	11月14日	食品中の残留農薬と食品の安全性について	与一の郷(大田原市)

(学習会)

全体会を使った学習会では、次月9月25日(木)「動物医薬用品と食品の安全性について」(講師：内閣府食品安全委員会関口課長補佐)を予定していましたが、栃木県との共催となり「セミナー」として開催することになりました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

(関東ブロック・グループフォーラムの開催)

消費者問題に取り組む団体が交流する消費者庁提案の交流会「グループフォーラム」の関東ブロック開催(2015年2月19日(月)、栃木県総合文化センター、200名規模)をとちぎ消費者ネットワークで担当します。全国のキックオフ集会在8月28日に東京で実行団体が集まり開催されました。

今後は、栃木実行委員会を結成し、テーマ、参加団体、会場など、詳細を検討し開催に向けて準備していく事になります。

(とちぎ消費者カレッジ1)

学校側と交渉が進み5つの学校での開催が決まり準備をすすめています。

大学	日時	講師・内容
宇都宮大学	未定	未定
作新学院大学女子短期大学部	10月20日(月)14:40-16:10	服部弁護士
栃木農業大学校	未定	未定
宇都宮短期大学宇都宮共和大学子ども生活部	9月29日(月)14:45-	白土サポートネット副理事長
国学院大学栃木短期大学	未定	未定

3. 福祉ネットワーク 8月の定例会はありませんでした。

震災支援活動

おふれあい茶会	8月19日(火) 参加者28名 スタッフ29名 ・ふれあいコープ6名 ・生協連21名 ・ウィズ2名	【今回は夏祭り】 模擬店は、手打ちそば、フランクフルト、ポップコーン、わたあめ、かき氷、すいか割り、たこ焼き、漬物、おにぎり、輪投げ、ヨーヨーが行われ、避難者の方々が室内で歓談され、中庭での模擬店を利用していました。 かき氷を召し上がった避難者の方からは「お祭りに行っても、子どもでないとかき氷は食べないけれど、久しぶりにごちそうになって、美味しかった。」との声が聞かれました。
四倉仮設住宅お茶会	8月9日(土) 参加者9人 スタッフ10人 ・よつ葉生協1名 ・とちぎコープ7名 ・生協連2名	恒例の手芸では、透明グラスを使った手作りのキャンドルを作りました。みなさんそれぞれのデザインでキャンドルづくりを楽しんでいました。食事は、各種煮物、きゅうりの煮ごり、五穀米や混ぜごはんのおにぎりや漬物、デザートとどれもおいしくいただきました。男性陣は、小名浜の海岸沿いの状況を見に行きました。堤防のかさ上げ工事が進み、海岸線沿いの道路から海面が見えない部分が多くなっているように感じられました。 (当日振り返りより) 1. 「いつもみんなでおしゃべりをしているけれども、おしゃべりっていいよね。」 2. 「1ヶ月本当に楽しみです。また、もやもやしていたものがみなさんにお会いできてすっきりしました。」 3. 「おしゃべりが一番、おしゃべりがあるからここから出ていかないのよ。」などの声がきかれました。

¹ とちぎ消費者カレッジとは、栃木県の委託事業で「消費者被害防止を啓発する若者(主に大学生)を対象にした啓発事業」です。大学等、授業時間をとっていただき消費者ネットワークのメンバーが主に講師を務めます。

² 栃木県生協連が中心になり、NPO法人ウィズ、行政などの協力のもと、社会福祉法人ふれあいコープ特養みどりの地域交流室を使って開催する福島からの避難者を対象にしたお茶会。①参加者同士をつなげる場、②参加者の想っていること困りごとを受けとめつなげる場、③おしゃべりを楽しんでいただく場の3つの目的を立てて実施しています。基本は毎月第三火曜日開催。

³ 栃木県生協連が中心になり、いわき市四倉仮設住宅に暮らす避難者の方を対象にしたお茶会。現地の集会室を借りて実施します。基本は毎月第二土曜日開催。目的は、ふれあいお茶会と同様。